

視聴覚教育

No. 210

発行日 7. 2. 1

発行 岡崎市AVL

編集 広報委員会

視聴覚ライブラリー設立四十周年

本年度は、岡崎市小中学校視聴覚教育協会が昭和二十九年に発足して以来、四十周年に当たります。

この間には、本市における視聴覚教育の研究のまとめである「岡崎の視聴覚教育」の刊行や地域教材を映像化した自作教材の制作などさまざまな活動がありました。自作教材コンクールでは、本年度までに合計五作品が文部大臣賞を受賞するなどの成果を上げてきました。

また、本年度は全国に先駆けて、岡崎市フルネットワークプロジェクトの実験が開始され、マルチメディア時代の到来を感じさせます。

視聴覚ライブラリーの歩みを振り返りますと、多くの方の御努力によって支えられてきたことを改めて思い知らされます。



【梅園小学校当時の事務局】

四十年の歩み

視聴覚キーワード「ネットワーク」
同一の番組を、各地で同時に受信できるようにした組織。光ファイバー通信の開発により情報伝達手段が迅速になり、双方方向のやり取りも可能となった。新しいコミュニケーションの形が確立されようとしている。

昭和二十九年	岡崎市小中学校視聴覚教育協会が発足
昭和三十年	事務局が市役所から美川中学校に移転
昭和四十二年	視聴覚教育「月報」創刊 研究誌「岡崎の視聴覚教育」創刊
昭和四十七年	事務局が梅園小学校に移転
昭和四十八年	事務局が市立図書館に移転
昭和五十二年	学校教育と社会教育が一本化し、公立「岡崎市視聴覚ライブラリー」が発足
昭和五十三年	「放送番組と学習指導関連表」創刊
昭和五十四年	事務局が市役所七階に移転
昭和五十五年	視聴覚教育賞（文部大臣賞）をライブラリーが受賞
昭和五十六年	岡崎市自作TP作品募集開始 自作委員会と社会科の合同自作教材制作プロジェクト結成 愛知県芸術文化選奨文化賞を視聴覚

昭和五十七年	部が受賞 「視聴覚教育誌」発行 第一回岡崎市視聴覚教育賞授賞式
昭和六十年	事務局が市役所七階から八階に移転 「自作ビデオ教材活用事例集」創刊 三十周年記念式典
昭和六十一年	記念誌「視聴覚」発行 事務局が市役所八階から太陽の城一階に移転
昭和六十二年	全国自作視聴覚教材コンクール（社会教育部門）で、八ミリ映画「ねりがしら」が文部大臣賞を受賞
昭和六十三年	松下全国視聴覚教育研究大会岡崎大会（甲山中・井田小）
平成二年	「視聴覚 機器操作の手引き」創刊
平成三年	全国自作視聴覚教材コンクール（中学校部門）で、ビデオ「松くい虫を追って」が文部大臣賞を受賞
平成五年	全国自作視聴覚教材コンクール（社会教育部門）で、ビデオ「和算」が文部大臣賞を受賞
平成六年	四十周年記念式典 全国自作視聴覚教材コンクールで、二部門で文部大臣賞受賞 ビデオ「三河湾のクルマエビ漁」 ビデオ「ゲンジボタルの里」 （小学校部門）
平成七年	記念誌「岡崎の視聴覚教育」発行 （中学校部門） （予定）

II 実践報告 II

パソコン教室を身近なものに

城北中学校 山口 直純

パソコン教室が設けられて2年、教師側に「パソコンはどうも使いこなせない」「壊してしまつたらどうしよう」というイメージが強く、初めのうちは特定の授業でしか利用されていなかったというのが実情である。せっかくあるのだから有効に利用してほしいと考えた視聴覚部では、現職教育で「パソコン教室の利用の仕方」の講習を行ったり、利用黒板を設けてパソコン教室の利用のほたらきかけを行ってきた。またソフト面における充実にも力を入れてきた。その成果もあって、本年度に入ってから、多くの先生に利用していただけのようになった。理科、数学、技術をはじめとして、英語、音楽などの教材においても利用回数が増えてきている。また、選択の授業においても「パソコンプログラムに挑戦しよう」という講座が設けられ、生徒の意欲的にプログラミングに取り組む姿が見られるようになった。

いろいろな授業でパソコンを利用する機会が増えることで、生徒もパソコンに慣れ、「パソコンは自分で動かしていると



楽しいし、分かりやすい」という声も多く聞かれるようになってきた。パソコンを使ったドリル学習や一人調べも生徒一人一人のペースで取り組むことができる」と好評である。

今後パソコン教室の利用頻度が高くなるように工夫し、有効なパソコン利用についての授業研究も行っていきたいと考えている。

II レッツ トライノ II

鑑賞用レーザーディスクの活用

レーザーディスクプレーヤーの威力は、見たい場面を瞬間のうちに取り出せるランダムアクセスの機能があることと、鮮明な映像が得られることである。

音楽室にある音楽鑑賞指導用のレーザーディスクを授業で使ってみた。四年生音楽鑑賞教材の「ホルン協奏曲」である。子供たちにとって、聴くだけの音楽鑑賞から一歩進んだ臨場感あふれる音楽鑑賞ができたようである。

「演奏者がちゃんと指揮者の方を向いて演奏していた。」とか、楽器の編成に目をつけた子もいた。視ることによって曲、演奏の理解がより深まることがわかる。このあと、音をじっくり聴かせるという展開を図るのも一つの方法である。

(奥殿小 古川 浩)

ライブラリーだより

☆新規購入社会教育映画の紹介

- ・学校に行けない子どもたち 30分
- ・落語長屋のお年寄りの交通安全 25分
- ・夫の定年 妻の定年 32分
- ・わが子の長所みえてますか 30分
- ・子育て 叱ること ほめること 25分
- ・あの雲に歌おう 49分
- ・リトルツインズ 旅立ち 25分
- ・青鬼ものがたり 25分
- ・ムーミン はばたけノペガサス 25分
- ・イースターの卵騒動 23分

☆新規購入学校教育映画の巡回

二月一日(水)より巡回します。

☆新規購入機器の紹介

・OHP HP-A380 メタハライドランプ
大会場での利用のために、ライブラリーではこの機種を一台保有していましたが、二台同時に使いたいという要望にこたえるため、同機種を購入しました。自然光に近く、たいへん明るく投影できます。

